

アドバンス・ケア・プランニング (ACP) って、知っていますか？

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のイメージ



将来の意思決定能力の低下に備え、今後の将来の医療及びケアについて、**患者さんを主体に**、その御家族や近しい人、医療・ケアチームが繰り返し話し合いを行い、**患者さんの意思決定を支援するプロセス**のことです。



アドバンス・ケア・プランニングの実践

患者・家族

自分の人生観や価値の輪郭を明確にする

対話

信頼関係の構築

技術

- ・bad newsを伝える
- ・意思決定を支援
- ・価値観を明確する
- ・コミュニケーション

将来の変化に備え、患者さんの意思を尊重した医療及びケアを提供し、その人生の締めくくりに時期に寄り添うために必要と考えられる内容について話し合うことが必要です。

①患者さんの状況

- ・家族構成や暮らしぶりとはどのようなものですか？
- ・健康状態で気になることはありますか？
- ・他にわかっている医療機関(治療内容)や介護保険サービスの利用はありますか？など

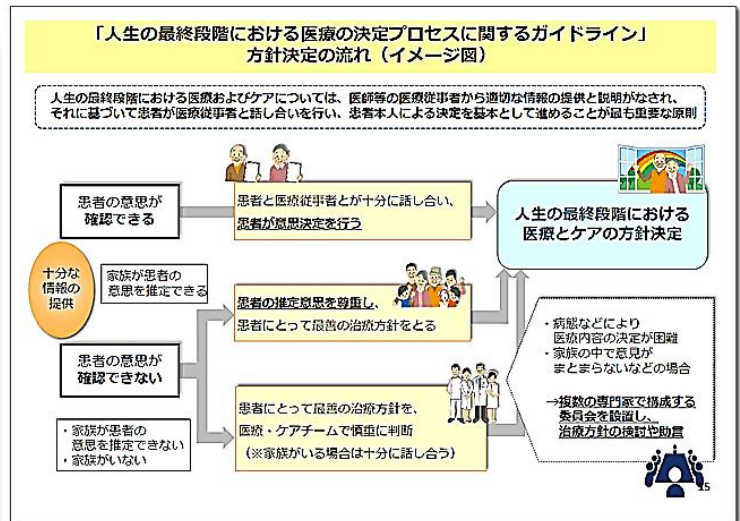
②患者さんが大切にしたいこと(人生観や価値観、希望など)

- ・これまでの暮らしで大切にしてきたことは何ですか？
- ・今の暮らしで気になっていることはありますか？
- ・これからどのように生きていきたいですか？
- ・これから経験してみたいことはありますか？
- ・家族などの大切な人に伝えたいことは何ですか？(会っておきたい人・最後にたべたいもの・葬儀・お墓や財産など)
- ・最後の時間を誰と、どのように過ごしたいですか？
- ・意思決定のプロセスに参加してほしい人は誰ですか？
- ・代わりに意思決定してくれる人はいますか？など

③医療及びケアについての希望

「可能な限り生命を維持したい」「痛みや苦しみを少しでも和らげたい。」「できるだけ自然な形で最期を迎えたい」などの希望が考えられますが、病状なども含め状況は様々です。医療関係者より適切な情報提供と説明がなされた上で、患者さんやそのご家族などと話し合いを重ねていくことが重要です。

「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」方針決定の流れ



出典：2014年度 人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン



穏やかな終わりをさがして・・・

緩和ケアセンターは、主治医・病棟スタッフの皆さまと共に、**患者さんの意思決定**のお手伝いも致します。
緩和ケアセンター(内線：3219)